

平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益財団法人
日本陶磁器意匠センター

平成30年度 事業報告書

自;平成30年4月1日 至;平成31年3月31日

1. 意匠・裏印の保全事業

陶磁器(食器・ノベルティ・タイル)の意匠と裏印の保全登録を行ってその保護に努めました。

(1) 保全登録事業

① 陶磁器意匠・裏印の保全登録

平成30年度は意匠審査人会を3回開催し、5件(6月1件、7月1件、1月3件)の新規保全登録を致しました。

裏印保全登録はありませんでした。

保全登録されている意匠・裏印については、登録者に対し、期間満了日の属する前々月末(例えば、満了月が6月の時は、4月末)に「登録期間満了案内」及び「登録更新申請書」を郵送し、「更新」の有無を確認しています(回答期限は、満了日の属する月の前月末)。

平成30年度の保全登録更新状況は、意匠では、満了386件に対し更新310件、裏印では、満了57件に対し更新27件でした。

平成30年度末(2019年3月31日現在)の保全登録有効点数は347件となりました。

新規保全登録意匠は、「陶磁器意匠弘報 web 版」として本財団ホームページに掲載しました。

www.pottery-design.jp > 意匠の保全事業について > 陶磁器意匠弘報

② 陶磁器意匠の予備登録

平成30年度予備登録件数 14件 <意匠10件、カタログ4件>

参考/29年度 13件<原画7件、意匠2件、カタログ4件>

28年度 28件<意匠28件;継続12件>

「予備登録リスト」を本財団ホームページに掲載しています。

www.pottery-design.jp > 意匠の保全事業について > 予備登録 > 予備登録弘報

③ カタログ等の受入確認

「カタログ等の受入確認」は、事業者発行のカタログやパンフレット・チラシに対して、第三者である当センターが受付日を記録(年月日)するものです。

この受付日は、他人の意匠との争いにおいて、先後を確認する証拠となります。

また、特許庁に意匠登録された他人の意匠よりも、開発・発表の時期の早いことを証明できれば、その登録意匠の無効を主張出来ます。

本年度のカタログ等の受入確認は4件でした。予備登録として受け付けています。

(2) 意匠や商標等に関する相談

① 「商標」に関する相談

- ・国内出願に関する相談; 7件
- ・外国出願に関する相談; 1件
- ・商標登録の有無及び登録の可否について相談; 1件

② 「意匠」に対する相談

- ・国内出願に関する相談； 4件
- ・先行意匠に関する調査； 1件

(3) 意匠や裏印の諸事案の相談及び対応

① 意匠に関する事案

<1>

A 地区工組の会員窯元は、B 地区窯元の新作に同窯の模倣品が含まれているとの連絡を取引先産地商より受けた。A 工組から対処策についての相談が寄せられた。(それら模倣された意匠は、地区考案権の保全登録はない)

“情報提供の商社の協力を得て、B 地区窯元の商品を入手し、対照写真作成の上、販売中止の申し入れを”と提案したところ、A 地区産地商にとり、模倣品製造の窯元が B 地区産地商を通じての取引先であるため、“情報を流したのが当社と憶測され、困る”との回答。

このため、A 地区工組は「申し入れ」について、B 地区工組を通じて行うこととした。

営業用和食器が異なる産地間でも取引されていることから、模倣事案対処については、一筋縄では行かない現状が窺われる。カタログが異なる産地の商社間で回されているのではと危惧する。

<2>

家庭用品・インテリア用品流通業大手 C 社が、D 社の長期製造商品(50年)の模倣品販売を行っているため、C 社に対し当該品の販売中止・在庫品破棄を申し入れた(平成30年8月)。

C 社の回答には、申し入れに沿った対応を行うとあったが、当該品は「ベンダーによる開発品」との弁明があったため、転売を懸念し、ベンダーを明らかにするよう重ねて申し入れた。

それによって、E 消費地商と F 製造元を確認、両社に対し、模倣品の販売中止と在庫品破棄を求めた。

模倣品販売事案の多い C 社に対しては、先行意匠調査などを徹底するよう申し入れた。

2. セミナー事業について

本年度は実施致しませんでした。

3. 陶磁器意匠データベースについて

① 食卓台所用品(保全登録意匠)データベース

意匠データの追加 約3,000件。<平成31年3月末にて、約8万件>

DB 閲覧 ID・PW 発行 4件

② 置物<人形編>意匠データベース構築の準備作業

ノベルティの意匠認証及び保全登録の中から、「人形」意匠のデータベースを構築するため保存資料の調査を始めた。デジタル化に適する資料は約数万シート。

令和元年度は、検索キーワードの検討ほか、より広くノベルティDB 構造の検討も併せて行う。

4. 資料収集及び整備とその活用について

(A) 陶磁器デザインや陶磁器産業に関する書籍を収集・整備。

- ① 展覧会図録、研究書、記念史誌、調査報告書などの寄贈を受けました。
- ② 所蔵図書の閲覧を受け付けました。

(B) 陶磁器意匠・裏印など調査への対応

- ① 意匠認証「意匠分類ファイル」の閲覧 1件。
閲覧希望者が直接来所し、輸出陶磁器(ノベルティ)の製造事業者、輸出時期の調査が行われました。
- ② 資料調査及び提供 4件
- ③ 意匠・裏印調査(製造元を特定する調査) 食器5件、タイル1件

5. 賛助会員の異動について

	期首	増	減	期末
団体会員	12	0	1	11
協賛会員	10	0	0	10
一般会員	2	0	0	2
合計	24	0	0	23

6. 会議の開催

(I) 理事会

第203回理事会 平成30年5月31日

出席理事;11名(現在数15名)、出席監事;2名(現在数2名)

(1) 審議事項

1. 平成29年度事業報告について
2. 平成29年度収支決算について
3. 「書面決議」について定款に追加する件
4. 定時評議員会の開催日について

(2) 報告事項

1. 理事・監事の任期満了について
2. 4階資料庫取り壊し後のファイル保存状況について

第204回理事会<書面決議> 議事録作成日 平成30年6月27日

決議事項 代表理事1名、副理事長2名、専務理事1名の選任

第205回理事会 平成30年12月7日

出席理事;9名(現在数13名)、出席監事;2名(現在数2名)

(1) 審議事項

1. 「寄附金取扱規程」に関する件
2. 基本財産の一部取り崩しに関する件
3. デザイン講演会の本年度開催中止に関する件

4. 評議員会(臨時)の開催日に関する件

第206回理事会 平成31年3月26日

出席理事;9名(現在数13名)、出席監事;1名(現在数2名)

(1) 審議事項

1. 2019年度事業計画について
2. 2019年度収支予算について
3. 理事長の互選について
4. 副理事長の互選について

(2) 報告事項

1. 今後の会議日程について

(II) 評議員会

第161回 定時評議員会 平成30年6月15日

出席評議員;8名(現在数11名)、出席理事;理事長及び専務理事、監事;1名

(1) 報告事項

1. 平成29年度事業報告について
2. 平成30年度事業計画及び収支予算について

(2) 審議事項

1. 平成29年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録承認の件
2. (特別決議)「書面決議」について定款に追加する件
3. 任期満了に伴う理事・監事選任の件
4. 評議員1名選任の件

第162回 臨時評議員会 平成31年1月16日

出席評議員;9名(現在数10名)、出席理事;理事長及び専務理事、監事;2名

(1) 審議事項

1. (特別決議)基本財産の減額に関する件

(2) 報告事項

1. 理事長交代について
2. 「寄附金取扱規程」について
3. 高額寄附金受領の報告
4. デザイン講演会の本年度開催中止について

(III) 監査会

平成29年度会計監査会 平成30年5月16日

以上